



たなぐら

# 議会だより

第139号

平成24年  
6月定例会  
平成24年8月15日

待ちに待ったプール

定例会概要	2
臨時会	6
町の考えを問う 一般質問	7
行政調査レポート	20

# サンデー議会開催

## 一般質問に13人が登壇

6月定例会



6月定例会は、6月22日から24日までの3日間の会期で開かれました。

本会議では、条例の一部改正や各会計の補正予算など提出された議案を慎重に審議し、すべて原案のとおり可決しました。

最終日の一般質問は、平日、仕事などで議会傍聴ができない町民の皆さまにも、議会へ足を運んでもらおうと、昨年に引き続き、日曜日を利用しての議会を開催しました。

# 国民健康保険年間平均保険税

区 分	医 療 費 分		後期高齢者支援金分		介 護 分	
	1人あたり	1世帯あたり	1人あたり	1世帯あたり	1人あたり	1世帯あたり
平成24年度	53,823円	105,785円	20,804円	40,890円	24,890円	34,022円
平成23年度	53,897円	106,832円	20,612円	40,856円	24,683円	33,815円
前年度比較	△74円	△1,047円	192円	34円	207円	207円

## 可決された議案

### ◆国民健康保険税条例の一部改正

前年分所得及び固定資産税の確定や医療費などの見込額変更により、税率などの改正が行われ、その概要は、年間平均保険税の内容となります。

### ◆印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正

外国人住民が対象となる、住民基本台帳法の改正により、関係する条文の文言の改正です。

### ◆福島県後期高齢者医療

#### 広域連合規約の変更

住民基本台帳法の一部改正により、外国人住民を被保険者の対象とする組合規約の変更です。

### ◆平成二十三年度

#### 繰越明許費繰越しの報告

平成二十三年度から平成二十四年度へ繰り越した事業の内容が報告されました。

その内容は、一般会計については、消防防災通信基盤整備事業をはじめ、高野小学校耐震補強改修事業、棚倉幼稚園改築事業、土木施設災害復旧事業など、合計二十一件の事業。  
簡易水道事業特別会計では、高野西部配水施設災害復旧事業です。

### ◆補正予算の主な内容

#### 一般会計

#### ◎除染対策事業費

1億3,746万円

町除染実施計画に基づき、線量の高い地域から除染作業を実施します。

#### ◎放射性物質拡散被害対策事業費

120万円

繁殖牛に与える牧草が、食品等の放射性物質の基準値が引き下げられたため、牧草地を反転耕し、新たに飼料用の種子を購入した場合について、補助

の対象となります。

#### ◎ふくしまの恵み安全・安心推進事業費

9,360万円

米の全袋検査を実施するため、放射性物質検査にかかる費用です。

#### ◎消防防災施設災害復旧費

3,691万円

東日本大震災で被害を受けた、防火水槽六基を、地下式防火水槽に改築します。

改築する六基は、寺山・福岡・板橋・丸内・小爪・一色地区の防火水槽です。



改築が予定される福岡地区防火水槽

◎保健福祉センター維持管理費  
3,254万円

災害時に防災拠点施設として機能するため、太陽光発電パネルや蓄電装置を整備します。

国民健康保険特別会計

歳入については、本算定に伴う、国保税及び国県支出金や平成二十三年度決算剰余金の繰越金などの補正です。

歳出については、医療給付費や、平成二十四年度二号被保険者にかかる介護納付金、後期高齢者支援金などの補正です。

簡易水道事業特別会計

原発事故に伴い、瀬ヶ野及び山岡簡易水道施設の濾過池の濾過砂を取り替えます。

6月補正予算の状況

(1万円未満切捨て)

会計名	補正額	補正後の予算額
一般会計	3億5,864万円	70億7,154万円
国民健康保険特別会計	△3,435万円	15億5,319万円
簡易水道事業特別会計	400万円	4,480万円

(△は減額表示)



昨年度実施した山岡簡易水道施設濾過池の濾過砂入替作業

請負契約締結 可決



町道富岡三森線祝部内地内

◇辺地对策事業富岡三森線道路改良工事

◎契約金額

六千三百万円

◎契約の方法

条件付一般競争入札

◎請負者

株式会社 藤田組



大字祝部内地内の車両通行の安全確保を図るため、路盤改良と舗装の打ち換え工事を実施します。

# 経営状況報告

町が、出資している法人・団体である、株式会社ルネサンス棚倉、財団法人棚倉町活性化協会、白河地方土地開発公社から、平成23年度における経営状況が報告されました。  
なお、株式会社ルネサンス棚倉における経営状況は次のとおりとなっています。

## 株式会社ルネサンス棚倉

～損益計算書・事業報告より～

### ◇利用料総額

宿泊、研修室、クアハウス、プールなどの利用者から納入された総額

**1億5,731万円**

### ◇売上金から

レストラン・売店などの賃借料

**1,146万円**

### ◇町内業者からの仕入れ状況

食材の900万円をはじめ、燃料費などを購入

**5,700万円**

### 主な実績

( )内前年比

宿泊延べ人数	24,269人 (8,534人減)
売上高	2億5,863万円 (1億2,415万円減)
東京電力からの賠償金	9,772万円
当期黒字額	5,565万円 (3,382万円増)
累積赤字額	3億1,046万円 (5,565万円減)



## お詫びと訂正

前号議会だより138号の紙面中、誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

◇6ページ中段

棚倉町監査委員の選任

正 監査委員

誤 監査委員

## 第四回臨時会

平成二十四年五月二十四日に臨時会が開催され、提出された議案等については、全て承認及び可決しました。

### ◆専決処分の報告及びその承認

主な内容は、地方税法等の一部改正に伴い、棚倉町税条例の一部改正を行いました。

平成二十三年度各会計の補正予算の専決処分については、東日本大震災関連の復旧・復興事業にかかる地方負担分の財源組み替えや、事務事業費などの確定に伴うものでした。

平成二十四年度一般会計補正予算の専決処分については、放射性物質吸収抑制対策として、追肥時に希望する農家に対して、塩化カリの無償配布を行う事業費などで総額八百五十八万円の増額補正となりました。

### ◆一般会計補正予算

主な内容は、原子力発電所事故の賠償金として、東京電力とは別

に、県から給付される賠償金を町が給付するため、総額八億二千五百三十一万円の増額補正を行いました。

### ◆役場庁舎窓枠改修工事 請負契約締結

◎契約金額

五千三百三十四万円

◎契約の方法

条件付一般競争入札

◎請負者

株式会社 後藤工務店

### ◆棚倉幼稚園園舎改築工事 請負契約締結

◎契約金額

三億七千二百七十五万円

◎契約の方法

条件付一般競争入札

◎請負者

藤田建設工業 株式会社

### ◆高野小学校・幼稚園 耐震補強改修工事請負 契約締結

◎契約金額

一億六千八百万円

◎契約の方法

条件付一般競争入札



高野小・幼稚園耐震工事

## 第六回臨時会

◎請負者  
高田工業 株式会社

平成二十四年七月二十七日に臨時会が開催され、次の二件の契約締結について全会一致で可決しました。

### ◆農地等災害復旧工事 (寺山第一)請負契約締結

◎契約金額

七千七百十七万円

◎契約の方法  
条件付一般競争入札  
◎請負者  
藤田建設工業 株式会社



昨年9月に被災した寺山堰

### ◆米の放射性セシウム 濃度袋体検査機器等 購入契約締結

◎契約金額

四千五百四万円

◎契約の方法

随意契約

◎請負者

日立造船 株式会社 東北支社



ベルトコンベア式の検査機器



蛭田 卓雄 議員

問

山岡小学校の耐震診断実施は

答

地域関係者と協議し対応



耐震未診断の山岡小学校

**質問** 山岡小学校の本格的な早期の耐震診断が必要ではないか。

**答弁** (教育長)

耐震診断については、今後も、地域関係者との協議を進め、必要が生じる場合には実施することになる。

**質問** 耐震診断実施の結果、改修工事が必要と判定された場合の、今後の具体的な対応は。

**答弁** (教育長)

地域関係者との協議を踏まえて対応する。

**問** 通学路の安全対策は

**答** 危険箇所は二十三箇所。今後関係機関と協議し対応

**質問** 小・中学生、高校生の通学路について、危険箇所の把握をしているか。また、危険箇所は何箇所ぐらいあるのか。

**答弁** (教育長)

町内の通学路の危険箇所は、再点検をした結果、全体で二十三箇所。これらの危険箇所については、棚倉警察署をはじめ、関係機関などに報告し、通学路の交通安全確保に協力を求めたい。また、学校でも危険箇所を周知し、登・下校の際は、交通安全に十分注意するよう指導するとともに、交通安全教室などを開催し、児童・生徒の安全確保に努力する。

**質問** 花園地内の田楽橋歩道設置や未舗装部の舗装、ソナ地内のソナ地

橋歩道設置や道路改良工事、下町地内の豊川橋歩道設置、山岡地内の横断歩道設置及び交差点付近の減速対策、これらの工事が早急に必要なと思うが、今後の対応は。

**答弁** (町長)

田楽橋歩道設置については、幅員が狭く、歩行者の利用が多いため、大変危険で、花園地区からも要望があり、町としても、早い時期に設置が実施できるように検討する。

また、未舗装部については、隣接地権者との境界が未確定であるため、引き続き地権者と交渉を行っている。

ソナ地橋、下町の豊川橋の歩道設置については、現道の範囲内で歩行帯を設け、カラー舗装などを計画したい。

山岡地内の県道端泉崎線における横断歩道や道路標示などについては、山岡小学校、棚倉警察署及び関係者において危険箇所の現地調査が行われており、棚倉警察署で早急に対応が予定されるため、町としても、早急な対応を期待している。



歩道設置を検討する花園田楽橋



近藤 正光 議員

## 費用対効果を考え廃止すべきでは

## 住民サービス向上には必要不可欠

問

答

**質問** 当町の自動交付機は、平成十七年度に導入して七年を経過しているが、利用者及び手数料の収入が伸びていないと思われるので、次の内容を質す。

- (1) 過去三年の手数料収入額と自動交付機の維持管理経費は。
- (2) 導入時において収入と経費を考慮したのか。
- (3) あまりにも効率が悪いため、廃止を検討すべきでは。

**答弁** (町長)

(1) 手数料収入は、二十一年度で三十二万四千円、二十二年で二十九万

六千円、二十三年で二十八万七千円。経費は、二十一年度で四百七十八万五千円、二十二年で二百八十二万

- (2) 閉庁時間や休日に証明書を交付することが、住民サービスの向上に必要な行政コストであるため、採算性を考慮して導入したものではない。
- (3) 自動交付機サービスが定着してきていると思われるので、今のところ廃止は考えていない。

**質問** 毎年、四百五十万

円程度の赤字が十年間では、四千五百万円の膨大な赤字となるが、財政的にはいかがなものか。

**答弁** (町長)

住民サービスのため、やむを得ない。

**質問** 現在、県内で自動

交付機を導入している市町村は。

**答弁** (企画情報課長)

白河市、須賀川市、榎倉町の三市町。

また、コンビニエンスストアでの交付を実施しているのは、会津若松市、相馬市、須賀川市である。

## 住民健診無料化を検討すべき

**答** 無料化は考えていない

**質問**

(1) 過去三年の受診率及び自己負担金の合計額は、いくらなのか。

(2) 町民憲章に掲げている「健康な町づくり」を

目指すためにも、自己負担金を無料にしてはどうか。

**答弁** (町長)

(1) 受診率は、二十一年度で四十四・八％、二十二年で四十三・九％、二十三年で四十一・一％。自己負担金は、二十一年度で二百六十万三千円、二十二年で二百四十二万四千円、二十三年で二百六十六万六千円である。

(2) 健康管理は、本人自らが管理することが基本であるため、従来どおり一部負担とする。

**質問** 受診率が伸びない

が、何か手だてはないのか。



住民健診の様子

**答弁** (健康福祉課長) 健診の未実施者に対し、追加健診で受診するよう通知をする。

**質問** 自動交付機の四百五十万円の赤字と対比する訳ではないが、二百五十万円前後の個人負担金であれば、町が、「健康な町づくり」を宣言している以上、個人負担金を無料にして、受診率を向上させる方策をとってはどうか。

**答弁** (町長)

収入があり課税されている住民が、無料でなければ健診を受けないと言うのは、意識の問題。無料化は考えていない。



役場庁舎に設置してある自動交付機





須藤 俊一 議員

問

ふくしまの恵安全安心推進事業の内容は

答

市場には新基準値超米を流通させない

【質問】

- (1) 事業の目的、内容は。
- (2) 協議会の設置は。
- (3) 検査機器、人員などの経費は。
- (4) 検査米の安全管理は。

【答弁】(町長)

(1) 県産米に対する消費者の不安解消と、産地の信頼を得るため、県下全域で、放射性セシウム濃度の全袋検査を行う。

(2) JA東西しらかわ、商業系集荷業者などと協議会を設立し、その中で効率的な方法を検討する。

(3) 検査機器は、県の補助金、人件費などは、東京電力へ請求する。

(4) 今後、協議会で検討するが、米の安全確保強化対策を推進し、市場に基準値を超える福島県産米を流通させない。

【質問】本会議で九千三百万円の補正予算が組まれたが、その内訳は。

【答弁】(商工農林課長)

検査機器二台で六千万円、米の運搬機器などの購入費用で、三千三百六十万円を計上。

【質問】検査機器が二台で六千万円は、高いのではないか。県からは四千万円ぐらいと聞いている。機器の選定はいつ頃の予定か。

【答弁】(商工農林課長)

検査機器やロボットアームなども含んだ経費を補正予算に計上した。機器選定は、六月末の予定である。



県道社田浅川線一色地内

問

社川地区内の歩道整備計画は

答

関係機関、県南建設事務所などに強く要望する

【質問】

- (1) 県道社田浅川線の一色地区バイパス計画は。
- (2) 県道棚倉矢吹線の堤塚田地区内の歩道拡幅延長計画は。
- (3) 町道玉野逆川線の国道一一八号から福井地区への歩道設置計画は。

【答弁】(町長)

- (1) 県道社田浅川線道路期成同盟会、県南建設事務所との事業調整会議の中で、強く要望する。
- (2) 県の歩道整備方針として、小学校から一キロメートルの圏内を整備することになっているが、当該箇所は片側に

問

八幡川(天王内地区)の現状と整備計画は

答

整備計画はないが適正な維持管理に努める

【質問】

- 今後の河川改修計画はあるのか。

【答弁】(町長)

普通河川は、補助事業がなく、整備計画はないが、今後も適正な維持管理に努める。

問

天王内地区側の未整備状況は

答

全長で五百三十メートルのうち、百十六メートルが未整備。率にして十二%である。

【質問】

- 全長で五百三十メートルのうち、百十六メートルが未整備。率にして十二%である。

【答弁】(建設課長)

全長で五百三十メートルのうち、百十六メートルが未整備。率にして十二%である。



堤塚田地区



古市 泰久 議員

## ルネサンス棚倉の累積赤字解消は

問

## 経費削減と営業活動を推進

答

**質問** 平成二十三年度累積赤字三億一千万円の解消については、長期的な経営方針を立てなければならぬ。その改善計画は、

**答弁** (町長)

赤字の原因は、東京特別区職員互助組合からの預り金を、平成八年九月までに三億円使ってしまったことにあり、営業上の赤字ではない。経営改善計画については、事業計画に基づき、経費削減と県内外誘客の営業活動を推進する。

**質問** 納付金支払い金額と目的外使用料、入湯税の合計額は納付金の合計額を超えている。納付金は0円として先送りしているが、納付項目は、別であり平準化の手法を取ったとしても、納付させるべきではないか。

**答弁** (町長)

東京特別区職員互助組合の支払いを優先しなければならぬため、納付金を先送りしている。

**問** 新教育長の教育行政の施政方針を問う

**答** 第五次振興計画に基づいた、人づくりを基本目標とする

**質問** 基礎学力の現状とレベルの目標設定を問う。

**答弁** (教育長)

小学校は、順調に伸びているが、中学校は、やや伸び悩んでいる。レベル目標は、常に全国の半数以上の所は確保していきたい。

**質問** 道徳教育の対応について問う。

**答弁** (教育長)

現在、具体的に計画されていない。今後長期的な町づくりの中で検討する。

**質問** 棚倉城跡の国指定史跡の指定について問う。

**答弁** (教育長)

本年度、地形測量など調査を計画している。今後、専門家などによる調査指導委員会を設置し、進めていく。



ルネサンス棚倉

**問** 近津公民館分館の建設を問う

**答** 建設の予定はない

**質問** 近津地区の関係団体は、四十八団体。行政区は十七区。人口三千二百十一人であり、利用者数は千八百七十四人の実績があり、社川コミュニティセンターの実績を超える。現況の近津分館は、老朽化しており、利用に足りる施設ではない。需要と必要性があり、地域活動の核としての建設の予定はあるのか。

**答弁** (教育長)

公民館の位置づけになっているが、主に、区の集会所的な役割を果たしている。町の公民館事業は、文化センターを主な

**【その他の質問】**

**問** ふくしま産業復興企業立地補助金を問う

**答** 保留企業の採択に向け、県を通じて国に要望していく



老朽化した近津分館



佐川 裕一 議員

問

## 子供や高齢者に対する交通安全対策の推進

答

### 交通教室の開催などで事故の防止

質問

- (1) 全国で通学時の事故が多発しているが、特に危険と町が判断している箇所は。
- (2) 通学路の危険な箇所に対する安全対策は。
- (3) 子供や高齢者の事故にどのような傾向がみられるか。
- (4) 子供や高齢者に対する交通安全対策は。

答弁（教育長）

(1) 緊急に小・中学校に危険箇所の再点検を要請した結果、全体で二十三箇所の報告があり、今後これらの危険箇所については、柵倉警察署をはじめ、関係機関などに報告し、通学路の交通安全確保について、協力を求めたい。また、学校においても、これらの危険箇所を周知し、児童・生徒の交通安全確保に努める。

(2) 関係機関などに協力を求め、通学路の交通安全確保に努める。また、学校においても

答弁（町長）

危険箇所を周知し、登下校の際は、交通安全に十分注意するよう指導し、引き続き交通安全教室を開催し、児童・生徒の交通安全確保に努める。

(3) 昨年の県内統計では、

子供の交通事故で負傷が最も多いのは、自動車乗車中シートベルトを着用していないケース。高齢者は道路横断時で、夜間における事故の割合が最も多く、全て反射材をつけていないことがあげられる。

(4) 公安委員会は、危険箇所などに歩道の設置やシルバー思いやりゾーン路線として、路面に表示するなどの注意喚起を講じている。子供の交通事故防止対策としては、関係機関と連携しながら、シートベルトの着用徹底を呼びかけ、各学校においても、交通安全教室を開催し指導にあたってい

問

### 医療過疎対策への対応

答 病院などの計画があった場合は助成を検討

質問

- (1) 医療計画はあるのか。
- (2) 町では、ここ数年に、新たに開業した病院はないが、どのように考えるか。
- (3) 町は、病院が開業しやすいような環境整備などは行っているのか。

答弁（町長）

(1) 町独自の計画はないが、県や県南地域全体の医療計画は作成されている。

### 【その他の質問】

問

口タウウイルスワクチン予防接種への助成

答

国・県の動向を見きわめながら検討

(2) 県においては、地域医療再生計画を策定し、将来を担う医学生に対し、就学資金の貸与、研修などの助成を行い、医師の確保に取り組んでいる。本町においては、郡医師会が中心となり、地域医療問題に対する取り組みが行われているので、今後も自治体と関係機関が一体となって、地域医療体制の確立に努める。

(3) 町独自で土地の確保、助成などは行っていないが、今後病院などの計画があった際には、検討する。



塙厚生病院



藤田 智之 議員

問

将来の棚倉町の人口予想は

答

国の推計では平成37年で約13,000人

**答弁** (町長)  
今後、平成三十六年度を目標年度とした、第六次振興計画を策定予定で、

**質問** 人口減少、住民の高齢化や単身化が予想される中、施設の老朽化対策や見直し、将来ビジョンの策定などが必要になるが、どの様に取り組むか。また、町営住宅や公共交通などについては、どうか。



管理計画が策定された町営住宅

その中で検討していきたい。それ以上の長期の試算や計画には、取り組んでいないが、毎年、公共施設整備補修基金を積み立てている。町営住宅は公営住宅長寿化計画により、建て替えや修繕・改修を進め、国の交付金事業の採択を受けた。公共交通については、今後調査研究を進めていきたい。

**問** 父兄の送迎に対する対応は

**答** 学校だよりなどで啓発

**質問** 通学時の交通事故対策について、父兄による学校への送迎も頻繁に行われているが、対応は十分か。

**答弁** (教育長)

学校だよりにて、交通ルールの遵守やシートベルトの装着の徹底、乗降の際の安全確認をしつか

りを行うことなどを、啓発している。

**質問** 城跡周辺で、中学生が、送迎を待っている姿を多く見かけるが、対応を検討できないか。

**答弁** (教育総務課長)

学校敷地内への車の進入は、させていない状況

**問** 公衆無線LANを導入してはどうか

**答** パソコンが設置してあるため考えていない

**質問** 日々進化する、情報技術を積極的に活用し導入すべきと思うが、公共施設への公衆無線LANの導入やスマートフォンへの対応、フェイスブックなどの利用など、ホームページの活用や、防犯カメラの設置などは、検討できないか。

**答弁** (町長)

住民が利用できるパソコンが設置してあるため、公衆無線LANの導入は考えていない。

町のホームページはパソコンサイトと携帯サイトから情報を発信しているが、スマートフォンへの対応なども検討していきたい。

にあるが、送迎の場所については、学校と協議していきたい。



送迎を待つ中学生

ネットオークションの利用については、有効性も含めて調査研究していきたい。

防犯カメラの公共施設への設置は、必要ないと考えている。

※LAN 構内通信網

**質問** 証明書のコンビニエンスストアでの交付は検討しているか。

**答弁** (企画情報課長)

費用なども考え、慎重に検討したい。